あさおの町会・自治会 Vol.27

三井百合ヶ丘 第三地区自治会

会長　渕田　隆大

百合ヶ丘駅より南へ約2km。「三井百合ヶ丘住宅」は1960年代に開発がスタートし、小田急バス団地坂上バス停の南側の広いエリアが切り開かれ広大な住宅街が出現します。私たち「三井第三住宅」は幹線道路・尻手黒川線の南側、王禅寺公園をとりかこむように王禅寺東1丁目、西3丁目付近の約450世帯で構成されています。

入居の開始は1969年。1974年に入居のピークを迎え80年代前半には現在の街並みが形成されます。40年以上お住まいの世帯も多い一方で入れ替わり新たに入居される世帯も多く、2000年以降の入居世帯は全体の40％を占めています。新旧の家並みが同居する静かな住宅街で、自治会加入率も極めて高いです。

自治会は15の班で構成され、各班より任期1年の役員と任期半年の班長、さらに防災専門の委員会で構成されています。

現在、自治会では防災体制の整備を最も重要な課題として「防災委員会」を設立。今まさに組織の整備拡充の途上にあります。11名の自薦、他薦メンバーにより長期的視点でさまざまな取り組みを実施。昨年末には王禅寺公園内に念願の防災倉庫が完成し、引き続きエリア内に2番目の倉庫も完成します。

昨年 12月 防災倉庫の完成披露

地域の防災意識を高める重要な施策として「防災訓練」にも注力。毎年夏に王禅寺公園で防災訓練を実施しています。今年は7月24日（日）に100名を超える会員が参加、恒例の消火器訓練、川崎市危機管理室の講座に加え、消防局協力による消火栓からの放水訓練、地域包括センター協力による車いす・担架の使用訓練など拡充を図っています。昨年度からは10月に「王禅寺ふるさと公園」で実施される秋の防災訓練に新百合ヶ丘自治会、王禅寺町内会と合同で参加。今後も協調して取り組んでいきます。

防災と並び地域の「防犯」についても自治会が果たす役割が大きく注目されています。住民の防犯意識を高めることが地域の犯罪抑止にとって重要です。

自治会では昨年新たに防犯パトロールの仕組みを提唱。ウォーキングを兼ねて気軽に参加できる防犯パトロール隊メンバーを募集して50名を超える賛同を得ます。これを受けて昨年11月より月1回の「定期パトロール」を実施。活動として定着します。今年6月からは一歩進め週1回お昼の週次グループパトロールも実施できるようになりました。パトロールを通じて情報の交換や、町内の問題点の発見も多く高評価を得ています。

集合後、小グループに分かれてパトロール

毎年12月には当地区で20数年続く冬の恒例行事、王禅寺公園の「一斉清掃」を行います。昨年度も約120世帯が参加して45リットル袋320袋の落ち葉を回収。地域の美化にとどまらず共同作業を通じたコミュニケーションの場として評価を得ています。

自治会活動は今後も地域コミュニケーションに重要な役割を果たします。引き続きエリアに寄り添った活動を継続していきたいと考えております。

「区民車座集会」開催
テーマ…「若者の地域参加」

平成28年7月16日（土）、麻生区では4回目となる区民車座集会が麻生区役所で開催されました。「若者の地域参加」をテーマに、麻生区内の4つの大学の学生がそれぞれの地域活動について発表し、地域の代表として麻生区町会連合会の役員・理事も参加して、市長・学生と一緒に意見交換を行いました。

各大学の発表内容（概要）は次のとおりです。

【昭和音楽大学～音楽で地域をつなぐ】

サンラフレ百合ヶ丘団地の集会所で地域の高齢者や子どもを対象に行った音楽療法の取り組みについて発表し、「若者が音楽とともに地域と関わることで、地域の人同士の新たなつながりが生まれる可能性があると思う」と話しました。

音楽療法の取組み

【田園調布学園大学～子どもが作る町 ミニたまゆりの活動について】

職業体験を通じて子供たちが社会の仕組みや職業観を養うことができるイベント「ミニたまゆり」の取り組みについて発表し、「この活動を通じて多くの人との出会いがあり、自分達も成長することができた」と話しました。

ミニたまゆりの取り組み

【日本映画大学～日本映画大学学友会執行部と地域の交流、園芸倶楽部】

地域の人達と学生とが一緒に映画を見る「地域上映会」の取り組みや、卒業式に地域の人達から餅つきと豚汁で祝ってもらっていることや園芸倶楽部の活動について発表し、「地域の方々に大変お世話になっているので、自分たちも恩返しのつもりで地域に根差した活動をしたい」と話しました。

園芸倶楽部の活動

【和光大学～サトヤマアートサンポ、かわ道楽】

黒川で行っているアート作品の野外展示イベント「サトヤマアートサンポ」の活動や大学周辺の鶴見川などでの環境保全活動、大学のある岡上地区で、地域の町会の納涼祭、どんど焼きの準備や当日の運営の手伝いをしているかわ道楽の活動の発表をしました。

地元小学生を対象とした秘密基地作り

各大学の事例発表に対して市長から、「地域と大学とがお互いにいい関係をつくり上げていくというのはとても大事なことだと思います。地域とつながることで活動をより多くの人に知ってもらえると思います。皆さんの素晴らしい活動をさらに継続してやっていただきたい」というコメントがありました。

訂正

平成28年7月1日発行麻生区町連だより79号の栗平・白鳥自治会紹介の記事中に、「昭和49年小田急多摩線開通当時、1車両での運行であった」と記載がありましたが、当時、2両編成での運行でしたので訂正します。

無事故で年末 笑顔で新年

12月11日（日）から20日（火）までの10日間、年末の交通事故防止運動が実施されます。麻生区交通安全対策協議会では、区民総ぐるみによる交通事故防止運動を展開して参ります。

これからは、何かと飲酒の機会が増える時期です。飲酒を原因とする悲惨な交通事故の根絶に向け、「飲酒運転を絶対にしない・させない」を合言葉に、皆様のご理解とご協力をお願いします。

交通安全年末キャンペーン

日時　12月9日（金）
午後2時～3時（予定）
場所　新百合ヶ丘駅南口広場
問　区役所危機管理担当
☎(965)5114

麻生区のデータ

（平成28年9月1日現在）

人口	176,466人
世帯数	75,216世帯
町会加入世帯	47,907世帯

100歳以上の人口

（6月末現在）

	麻生区	川崎市
男性	9人	54人
女性	53人	384人
合計	62人	438人

「川崎市の統計情報」から